

藤本 亜弓 さん

ふじもと あゆみ／昭和55年生／中山区  
長門総合病院リハビリテーション科勤務

「できなぐ」を「できる」に  
―熱血・新鮮力―

※仕事は 昨年の7月からリハビリテーション科で作業療法士として働いています。着る・食べる・入浴といった日常生活が困難な患者さんの機能回復を作業活動を通して指導を行い、患者さんの可能性を広げる手助けをしています。

※気をつけている事は 患者さんの状態をよく見て、けがをしないように気をつけています。

※趣味は 1年前から習っている三味線です。難しくてなかなか上達しませんが、上手くなったら馬関まつりで演奏したいと思っています。

※長門の印象は 実家が下関なのですが、長門の海もきれいな

※好きなタイプは 会話をしていて楽しい人がいいですね。結婚はいい人がいればいつでもいいです。

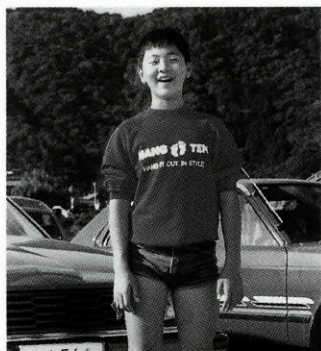
※挑戦してみたい事 スキューバダイビングをやってみたいです。

※自由に一言 笑顔を絶やさずがんばっていきます。未熟ですがよろしくお願いします。



郷里を離れて、早くも十数年。仕事の都合もあり、なかなか帰郷する事もないのですが、数年に一度は戻る事があります。そんな訳で、たまに見る故郷の景色が大きく変化している事には、常に驚かされます。幼い頃に目にしてきた風景、学生時代に通い続けた道。まるで初めて訪れる街の様な感覚を受けてしまいます。

変わり続ける故郷の街並み。それに比べ、この十数年で自分ほだけ変わったのだろうか？どれだけ変わったのだろうか？そう省みる事もあります。歳をとった分、幾らか成長したとは思いますが、微々たる変化なのでしょうね。



小学6年生の頃

大きく変化してゆく街の風景をよそに、長門の碧い海と大きな山の姿は変わりません。変化していく事も大切ですが、「変わらない」事も大切な様になりました。これが「変わった」って事なのでしょう。

只の浜の砂浜が狭くなったのを見ると、温暖化の影響を実感出来ますね。



変わりゆくもの、変わりぬるもの  
―ふるさとながと・こんにちは―

草場 富忠 さん

くさば とみただ／昭和47年生  
大阪市在住／中山区出身／会社員